

令和6年度

環境科学セミナー

無料

第一部 基調講演

「生命の起源に 放射線が関係？ ～宇宙生物学の最前線～」

横浜国立大学名誉教授
東京工業大学理学院研究員

小林 憲 正 氏

Kensei Kobayashi

1982年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了(理学博士)
米国メリーランド大学化学進化研究所研究員、横浜国立大学大学院
工学研究院教授等を経て、現在に至る。



第二部 成果報告

●「親が放射線にあたった後に生まれた子や孫への影響は？」

環境科学技術研究所 生物影響研究部 次長 小村 潤一郎

●「下北東方海域の物質を運ぶ流れ」

日本海洋科学振興財団 むつ海洋研究所 海洋研究部 主任研究員 中山 智治

日時

令和6年

9月12日(木)

13時30分～16時10分 (開場13時)

第1部 基調講演 (13:35～14:35)

第2部 成果報告 (14:45～16:05)

会場

六ヶ所村文化交流プラザ
スワニー 大会議室1～4

青森県上北郡六ヶ所村大字尾駁字野附1-8
TEL 0175-72-3400

お申し込み方法

参加をご希望の方は、裏面のがきに住所、氏名等
等を記入して郵送またはFAXでお申し込みください。
電子メール、ホームページからのお申し込みも
可能です。

会場周辺図



お申し込み・お問い合わせ:公益財団法人 環境科学技術研究所 共創センター

TEL.0175-71-1240 FAX.0175-71-1270

〒039-3212 上北郡六ヶ所村尾駁家ノ前 1-7 [ホームページ](https://www.ies.or.jp/) <https://www.ies.or.jp/> [電子メール](mailto:kanken@ies.or.jp) kanken@ies.or.jp

主催: 青森県 (公財)環境科学技術研究所 (公財)日本海洋科学振興財団

FAX 送信の場合 0175-71-1270へ

・本はがきで収集した個人情報、本報告会の運営に関する当研究所からのご連絡やご案内にのみ利用いたします。

(キリトリ線)

郵便はがき

0393290

上北郡六ヶ所村
尾駁家ノ前一番七



差出有効期間
令和6年9月11日
(切手不要)

公益財団法人
環境科学技術研究所
共創センター 共創推進課 行

お名前	フリガナ	参加人数	人
住所	〒		
電話番号	() ()		

環境科学セミナー (六ヶ所会場)

放射線に関する事など聞きたいことをお寄せください。



(郵便はがき)

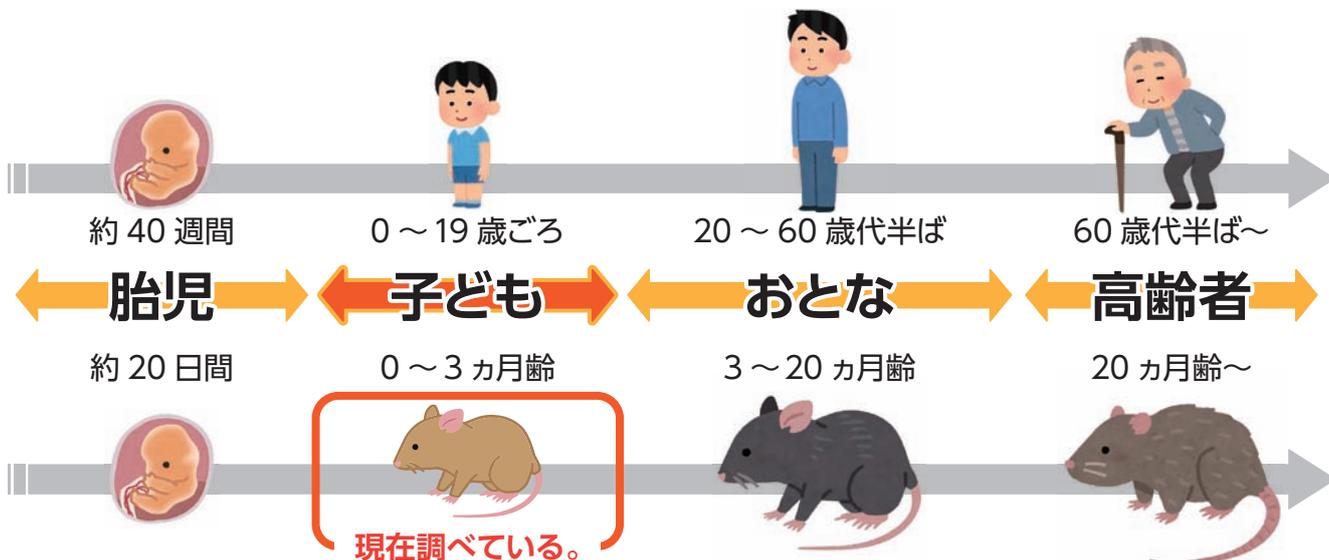
排出放射性物質影響調査 (青森県委託事業) の紹介

弱い放射線を長期間被ばくした場合の影響を調べています。

弱い放射線を長期間にわたり被ばくした場合の影響について、マウス (ハツカネズミ) を使ってデータを集めています。「おとな」のマウスに約400日間にわたり放射線をあて、寿命などを調べた実験では、事故時の避難指示基準や職業人の被ばく限度 (年間20ミリシーベルト) に相当する量の被ばくでは影響は検出されないという結果が得られています。この調査では「おとな」や「胎児」の被ばくの影響に続き、現在「子ども」の被ばくの影響を調べています。



放射線をマウスに照射する実験施設



それぞれの時期でどのような影響がどのくらいあるか調べている。

調査の内容や成果等はホームページ (<https://www.aomori-hb.jp/>) に掲載されています。是非ご覧ください。